

# アオバズク

*Ninox scutulata* (Raffles)

フクロウ目フクロウ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

## 選定理由

平地から低山帯にかけて生息する小型猛禽類で、近年減少が著しい。

## 形態

全長約29cm。雌雄同色。頭部から上面は黒褐色、下面は白く黒褐色の大きな縦斑がある。眼の虹彩は黄色。羽角はない。

## 国内分布

夏鳥として全国の平地から低山の森林、寺社林に渡来する。

## 県内分布

夏鳥として平地から低山の森林、寺社林に渡来する。かつては人家付近でも普通のフクロウ類であったが、近年減少が著しい。

## 生態

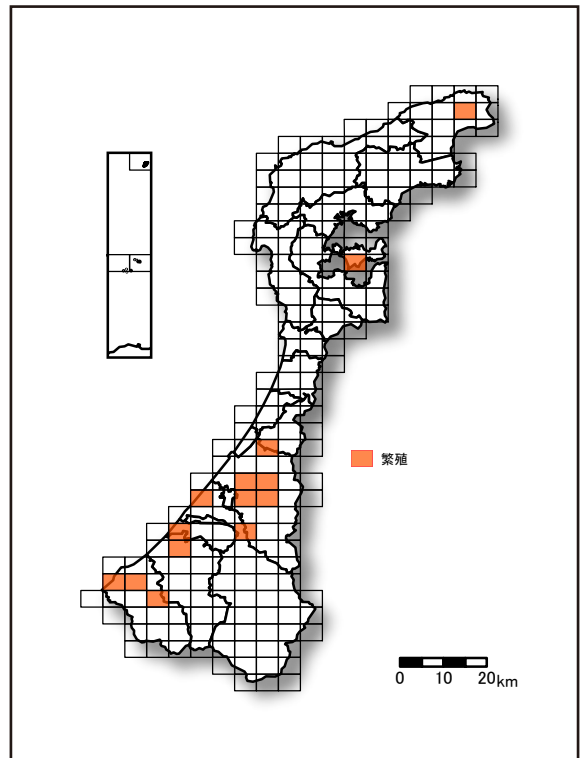
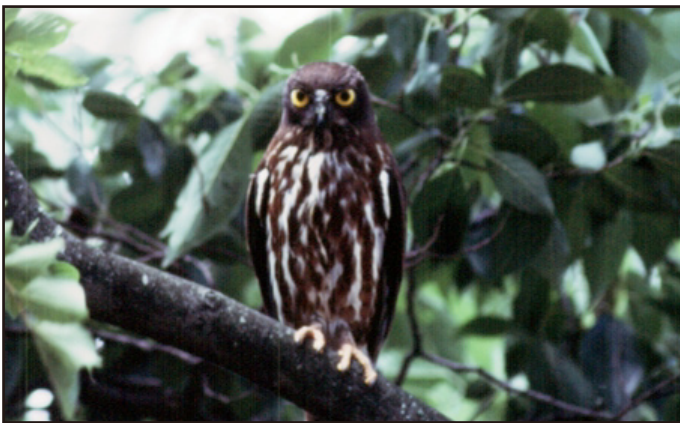
夜行性で主に大型昆虫を捕り、ハ虫類や小鳥を捕ることもある。繁殖期は6～8月。主に大木の樹洞に繁殖するが、時には建造物の穴に営巣することもある。抱卵期間は約25日、育雛期間は約28日。

## 生息地の条件

営巣木となる樹洞のある大木の存在。

## 生存の危機

平地林、寺社林の伐採による営巣地の減少、餌となる大型昆虫の減少などがあげられる。しかしさほど繁殖環境が悪化していない場所でも減少が著しく、原因はよくわかっていない。(A, D)



県内の分布